**護摩**

蔵王堂では、毎日、護摩がおこなわれています。 護摩とは、僧侶が、仏様の前で清浄な火を焚いて、その中に護摩木と呼ばれる人々の願いを書いた細い板が入れられて燃やされます。そうすることで、人々の願いが仏様に通じて、その願いが叶うと信じられています。

 蔵王堂の護摩は、読経だけではなく、法螺貝や太鼓の音とともに行われる修験道独特の護摩といえます。